



平成 23 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ
代 表 者 取締役社長 幸 後 和 壽
コド`番号 4043 東証 第1部
問合せ先 広報・IRグループリーダー 松本 良文
電話番号 03-3499-8023

防火用樹脂サッシの不正問題に関する再発防止策（中期的対応策）の実施状況の報告

当社は、平成 21 年 3 月 26 日付けで防火用樹脂サッシの不正問題に関する再発防止策として、①緊急対応策（3 ヶ月以内に対応完了予定）、②短期的な対応策（1 年以内に対応完了予定）、③中期的な対応策（2 年以内に対応完了予定）を公表させていただきました。再発防止策の取組みを開始して 2 年が経過いたしましたので、中期的な対応策の実施状況を報告させていただきます。

本件につきましては、お客様ならびに関係する皆様方には多大なるご迷惑とご心配をおかけしており、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今回の事態を極めて重大なものと認識し、グループ一丸となって対象となる防火用樹脂サッシの改修等に全力を尽くすとともに、再発防止に向けた実効的な取組みを実施し、皆様方からのご信頼の回復に努めてまいります。

記

中期的な対応策（2 年以内に対応完了予定）の実施内容は次のとおりです。

- （1）グループ本社としてのトクヤマの対応
 - ①監査体制の整備
 - ②グループ経営の仕組みの整備
 - ③コンプライアンス体制の強化
- （2）エクセルシャノンの対応
 - ①ISO9001 の認証範囲の拡大

緊急対応策(3 ヶ月以内)、短期的な対応策(1 年以内)につきましては、全て対応を完了いたしております。

詳細につきましては別紙－1 を参照ください。

以上

別紙－ 1

中期的な対応策（2年以内に対応完了予定）としての再発防止策の実施状況

実施主体	再発防止策	実施状況
トクヤマ	①監査体制の整備	グループ会社ごとに重要な監査項目と監査実施主体を定め、監査の実効性を高めるとともに、監査体制の役割分担を明確にした。また、防耐火認定の取得が必要な事業を展開している部門、グループ会社については、認定取得状況を必須監査項目とした。
	②グループ経営の仕組みの整備	グループ会社における人材配置の硬直化を防ぐために、これに係るグループ各社のリスクを抽出・評価した。その評価結果について、当社およびグループ会社の関係者間で情報共有し、連携してリスク対応する体制を整備した。 また、当社の情報ネットワークを活用した「グループ企業各種経営情報キャビネット」を設置し、グループ会社の各種経営情報を、当社およびグループ会社の関係者間で情報共有する体制を整備した。
	③コンプライアンス体制の強化	当社からグループ会社に対し、法令・社内規程・行動指針の遵守状況について調査を行い、各社ごとの遵守状況とコンプライアンス体制を把握した。 また、コンプライアンスの指導・教育責任部署をCSR推進室と定め、イントラネット上にコンプラ自習室を開設するなど、コンプライアンス体制の強化を図った。
エクセルシャノン	①ISO9001の認証範囲の拡大	これまで一部の製造部門に留まっていたISO9001の認証範囲を、機能としては開発、設計、販売を含め、事業所としてはすべての工場、支店、営業所にまで拡大し、2010年7月7日付で認証を取得した。